

競技注意事項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

また、競歩競技では、競歩審判員主任単独による失格権限を適用する。

※競技規則 TR5.2、TR5.5、TR5.13.3に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、フィールド競技用シューズについてはTR5.5の適用を除外する。

2 練習について

練習はすべてサブトラックを使用する。ただし、サブトラック及び競技場外での投てき練習は一切禁止する。なお、メディシンボール（ロープ付きを除く）を用いてのウォーミングアップについてはサブトラック横の指定された場所で下記の時間に限り認める。

第1日 7:45～15:40 第2日 7:30～15:50 第3日 7:30～12:20

3 招集について

(1) 場所及び手順

[トラック競技] プログラムの競技日程の招集開始時刻に雨天練習場において競技者係の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード〔左右両腰につける〕とスパイクピンなどの確認）を受ける。

[フィールド競技] プログラムの競技日程の集合時刻に100mスタート側ゲート付近競技場外側の集合場所において競技者係の点呼を受けた後、一斉に入場しフィールド競技審判員による点呼（アスリートビブスとスパイクピンなどの確認）を受ける。

(2) 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイクなどの確認）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理を認める。

(3) 混成競技については、1日目・2日目ともに第1種目は競技者係にて行う。以降の種目については、招集所北側の混成競技者控え場所に、トラック種目は競技開始の20分前、フィールド種目は35分前までに集合すること。ただし、最終種目については競技者係にて行う。なお、途中で棄権する場合は必ず混成競技係に申し出ること。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

4 競技について

(1) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。決勝の組合せはすべて番組編成員が行い、場内スクリーンに表示するとともにWEBページ上に掲載する。（掲示板への掲示は行わない）

(2) 競技結果については場内アナウンスおよびスクリーンで発表するとともにWEBページ上に掲載する。（掲示は行わない）なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を正式発表とする。

(3) リレオーダー用紙の提出について

各リレー種目のオーダー用紙は、すべて1日目の学校受付時に配付する。

ラウンド	提出先	提出時刻
予選	招集所入り口付近の競技者係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から 1時間30分前まで
準決勝・決勝	同上	招集完了時刻の1時間10分前から40分前まで

準決勝・決勝のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し必ず提出すること。

なお、リレオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているので、参考のうえ間違いないよう記入すること。

(4) 5000m、女子3000m、5000m競歩は別（胸、腰）ナンバーを使用する。また、1500m、3000mSCは別（腰）ナンバーを使用する。4×400mにおいて第2・3走者は右腰に・第4走者は左右両腰に腰ナンバーをつけること。

5000m、女子3000mはグループスタートで行う。

(5) トラック競技における次のラウンドへの進出について

① $(+ \alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、1/1000秒単位で優劣の判定をする。

(ア) レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。

(イ) レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。

② 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $+ \alpha$ での進出者数を減らす。

(6) 競技運営の都合上、5000m競歩では、男子25分、女子28分で競技を打ち切る場合がある。
(打ち切り時間を超えて最終周回には入れない)

競技注意事項

- (7) 走高跳・棒高跳で6位同順位の場合、近畿地区予選会出場資格決定戦を行う。
- (8) 混成競技の最終種目では、男子は第7種目、女子は第6種目終了時点の合計得点による順位をあらわす別ナンバーカードをつける。
- (9) リレー競走においては、出場者は同一のユニフォームを着用する。
(ア) 上着については同一のもの以外は認めない。
(イ) パンツ、スパッツ等については同系色であれば認める。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは自己のものを使用する。
- (3) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査をうけて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所および検査時刻は下記のとおりとする。

検査場所…フィニッシュ側器具庫

検査時刻… 男子 = 第2日 10:55～11:15 女子 = 第1日 8:30～8:50
八種 = 第2日 9:55～10:15 七種 = 第3日 10:30～10:50

6 フィールド競技の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

種 目	走 高 跳	走 幅 跳	三 段 跳	砲 丸 投	円 盤 投	やり 投
男 子	1m85	6m65	13m60	12m40	37m00	50m00
女 子	1m56	5m30	-----	10m20	31m00	35m00

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

男子 走 高 跳	予	練習	1m75	1m79-82-85				
	決	練習	1m75	1m80-85-88-91-94-97-2m00-2m03	… … … 3cmきざみ			
女子 走 高 跳	予	練習	1m45	1m50-53-56				
	決	練習	1m45	1m50-53-56-59-62-65-68-71	… … … 3cmきざみ			
八種 走高跳	1m55までは5cmきざみ 以降は3cmきざみ			最初の高さが異なる2グループで実施				
七種 走高跳	1m35までは5cmきざみ 以降は3cmきざみ			最初の高さが異なる2グループで実施				
男子棒高跳	決	練習	2m80	3m00-20-40-60-70-80-90-4m00-10-20-30-40-50 -4m60-65-70-75	… … 5cmきざみ			
女子棒高跳	決	練習	1m90	2m00-20-40-60-70-80-90-3m00-10-20-30-40-50 -3m60-65-70-75	… … 5cmきざみ			

※ 1位決定・近畿地区予選会出場資格決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

8 種目別表彰について

感染防止対策として種目別3位までの表彰及び部旗掲揚は行わない。

ただし、成績発表後1～8位の入賞者（チーム）は賞状を表彰係まで受け取りに来ること。

（近畿地区予選会申込みの自己最高記録確認用紙及びリレーメンバー記入用紙を受け取ること）

9 その他

- (1) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。なお、フィールド種目に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見る、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (2) 写真撮影を希望する学校は学校名入りの腕章を準備し、総務の許可を得て1校1名に限りスタンド下通路での撮影を認める。
- (3) 競技場内の応援・横断幕については申し合わせ事項による。
- (4) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
更衣室の利用は短時間とし、シャワーの使用は禁止する。
- (5) 競技終了後、すべてのゲートを開放するのですみやかに競技場から退場すること。
- (6) サブトラック内での日傘の使用は安全確保の観点から禁止する。
- (7) 表彰式後、全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会の出場校顧問打合せを行う。